

衆議院内閣委員会ニュース

平成 25. 6. 5 第 183 回国会第 17 号

6 月 5 日（水）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 道路交通法の一部を改正する法律案（内閣提出第 42 号）（参議院送付）

- ・ 古屋国務大臣（国家公安委員会委員長）、亀岡内閣府大臣政務官、赤澤国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、みんな、共産、生活）
- ・ 平口洋君外 6 名（自民、民主、維新、公明、みんな、共産、生活）から提出された附帯決議案について、村上史好君（生活）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、みんな、共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

津 村 啓 介君（民主）

- ・ 6 月 4 日の閣議後に行われた記者会見における車の速度規制の取り締まりの現状に関する発言はどういう趣旨か、また、具体的にどのような対応策を講じるつもりなのか、古屋国務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 長野県軽井沢市で行われている環状交差点の実証実験について、環状交差点の整備にどの程度費用を要したのか、また、どのような結果が得られたのか伺いたい。
- ・ 「死因究明等の推進に関する法律」の施行後、死体の解剖率及び検視官の臨場率は向上したのか、また、平成 25 年 12 月を目途に作成される死因究明等推進計画の案に具体的な数値目標を定める必要性について、政府の見解を伺いたい。

中 丸 啓君（維新）

- ・ 一定の病気等に該当する者を診察した医師による診察結果の届出に関する規定と「個人情報保護に関する法律」及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」との関係について伺いたい。
- ・ 自転車の運転による交通の危険を防止するための講習について、講習の時間及び内容に関してどのように考えているのか、また、交通安全教育の一環として行われる一般的な講習に関して、受講者に積極的な受講を促す内容にすべきであると考えているが、古屋国務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 放置違反金の収納事務の委託について、いわゆるコンビニ納付の導入によりどのような効果が得られるのか、ま

た、反則金等の納付にもコンビニ納付を導入するべきではないか、政府の見解を伺いたい。

大 熊 利 昭君（みんな）

- ・ 「一定の病気等」の一つである「再発性の失神」について、道路交通法施行令第 33 条の 2 の 3 第 2 項第 2 号では「脳全体の虚血」によるものをいうとされているが、「脳の一部の虚血」により意識障害が生じた場合はこれに該当するか否か、伺いたい。
- ・ 環状交差点について、安全確保の観点から路面に通行方法等について標示する必要があるのではないか、また、路面に減速帯を設ける必要があるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- ・ 医師による任意の届出に関するガイドラインについて、その作成主体は一つの医師団体に限られるのか、また、複数のガイドラインが作成された場合、それをどのように取り扱うのか、見解を伺いたい。

穀 田 恵 二君（共産）

- ・ 病気の症状に関する質問票への虚偽記載等があった場合は、現行法では免許証の不正取得罪が成立するのではないか、伺いたい。
- ・ 現行法では、運転免許証の更新を受けようとする者が病状の虚偽回答をした場合には免許証の不正取得罪にあたらぬが、これを改正する方法もあり得たのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- ・ 「一定の病気等」に当たるか否かを把握する有効な手段として、物損事故データベースを整備する必要があると考

えるが、期限を区切った今後の整備の見通しを伺いたい。

村 上 史 好君（生活）

- ・当委員会での「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律案」の審議を踏まえて、本法案が障害者に対する差別の解消に適うものとなっているのか、政府の見解を伺いたい。
- ・平成13年の道交法改正において、てんかん等の病名を運転免許の欠格事由から除き、免許の取得の可否等を個別に判断することとした経緯があり、本法案はこの流れに逆行し、新たな差別を生むのではないかとの意見もあるが、政府の見解を伺いたい。
- ・歩行者、自転車、車の3者の通行空間を分離した道路の整備が求められているが、安全対策の観点から国土交通省と連携して道路交通の環境整備を行う必要があるのではないか、古屋国務大臣の見解を伺いたい。